

令和4年5月の著名人の自殺報道の検証

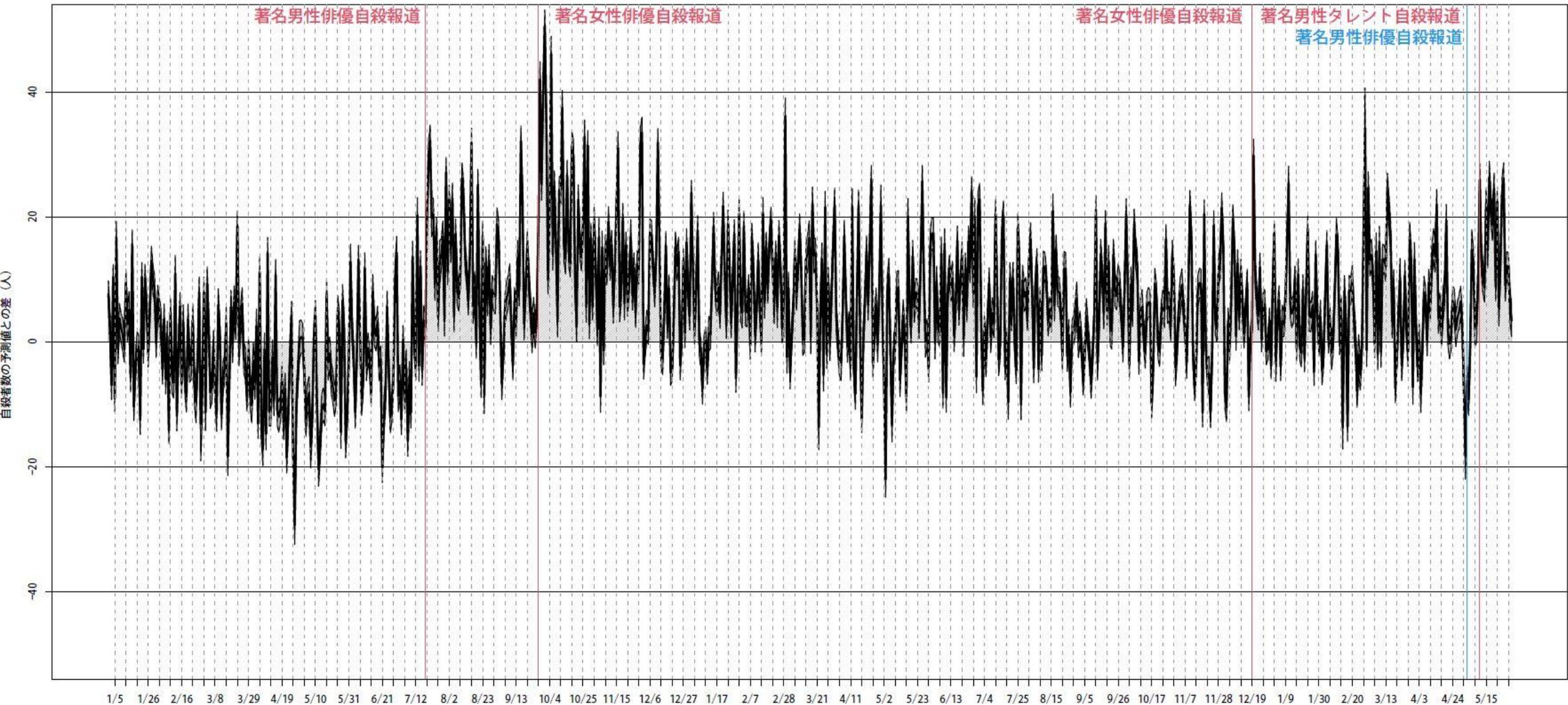
令和4（2022）年9月3日
調査研究推進部
新井 崇弘

いのち支える自殺対策推進センター
Japan Suicide Countermeasures Promotion Center

令和2年から4年自殺者数の「日次推移」

平成27年～令和元年の回帰モデルに基づく予測値と実際値との差(総数)

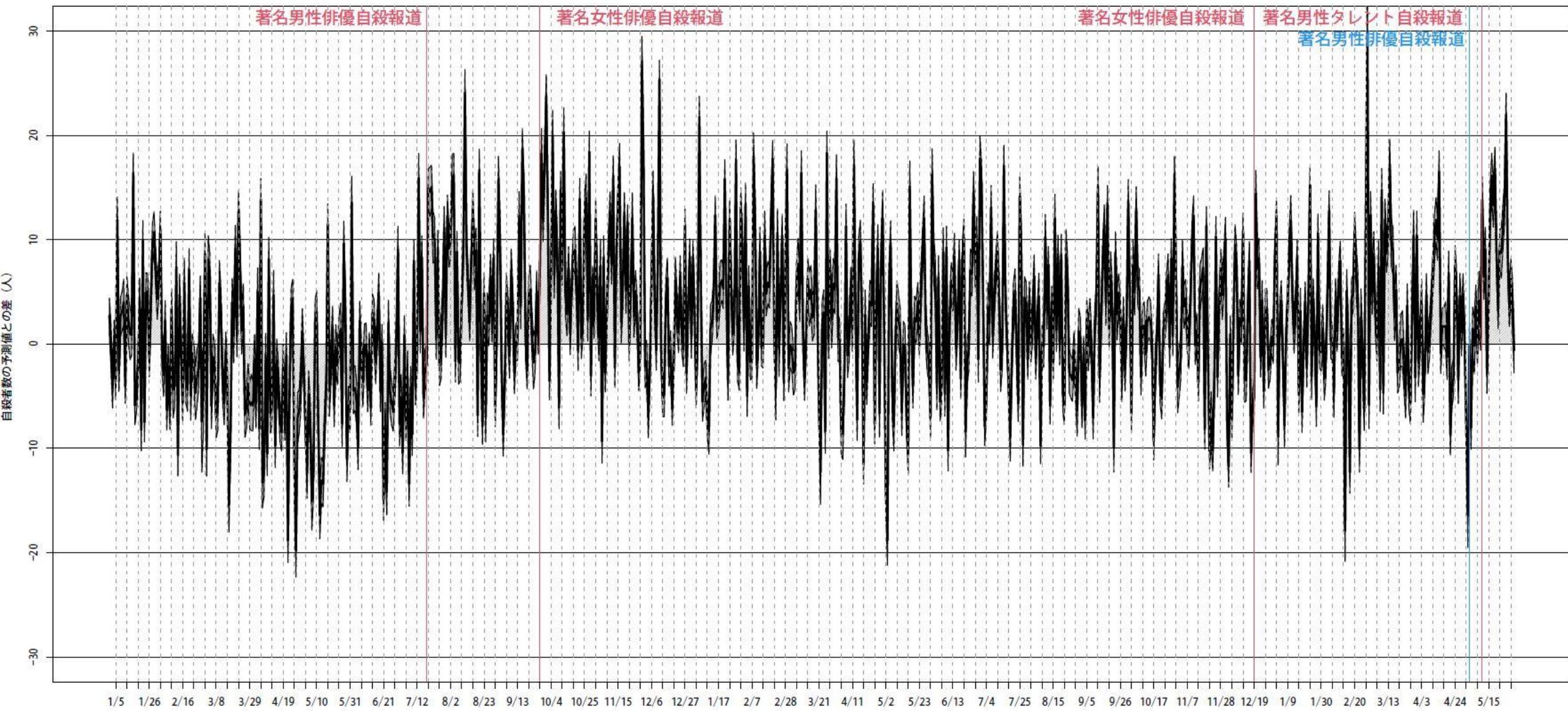
1: 総数 (男女計)



令和2年から4年自殺者数の「日次推移」

平成27年～令和元年の回帰モデルに基づく予測値と実際値との差(男性)

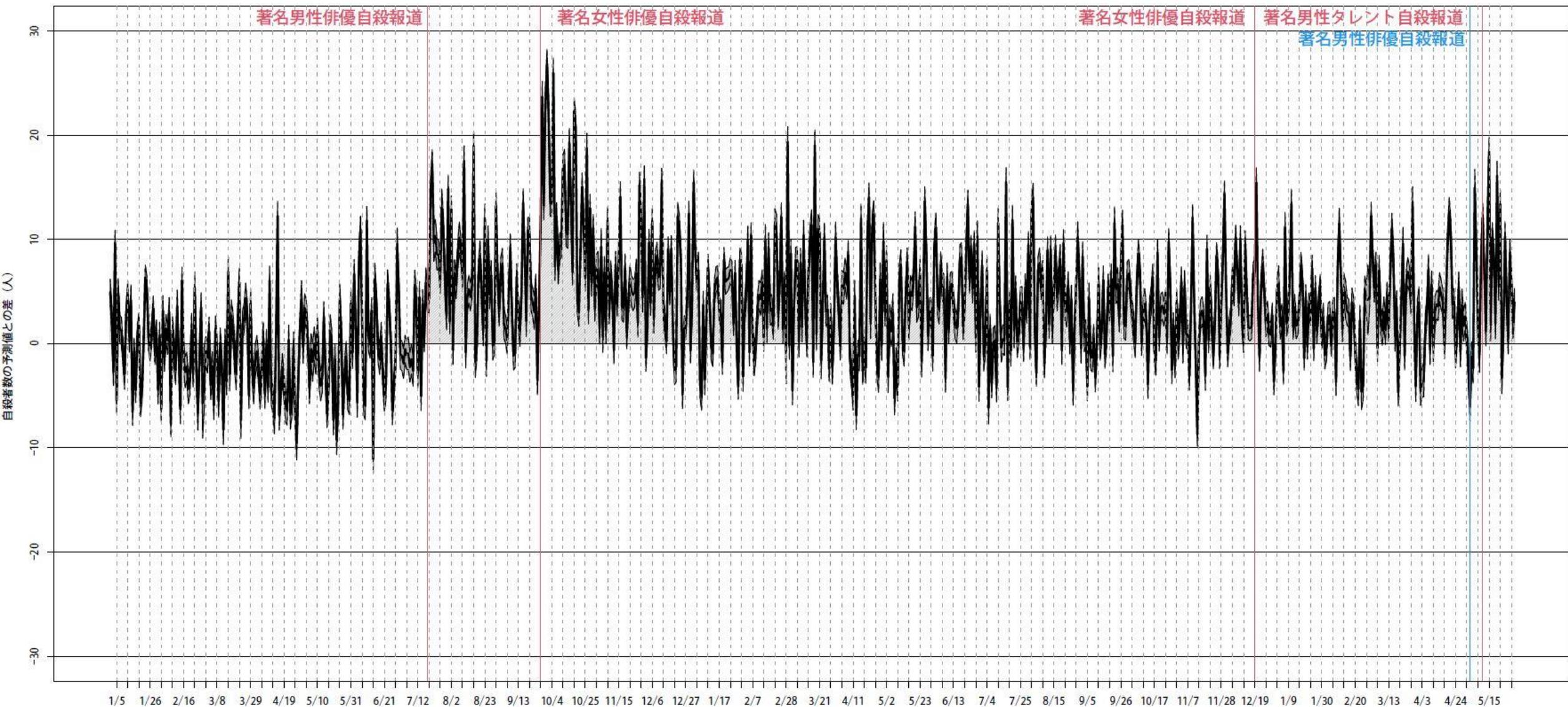
1: 総数 (男性)



令和2年から4年自殺者数の「日次推移」

平成27年～令和元年の回帰モデルに基づく予測値と実際値との差(女性)

1: 総数 (女性)



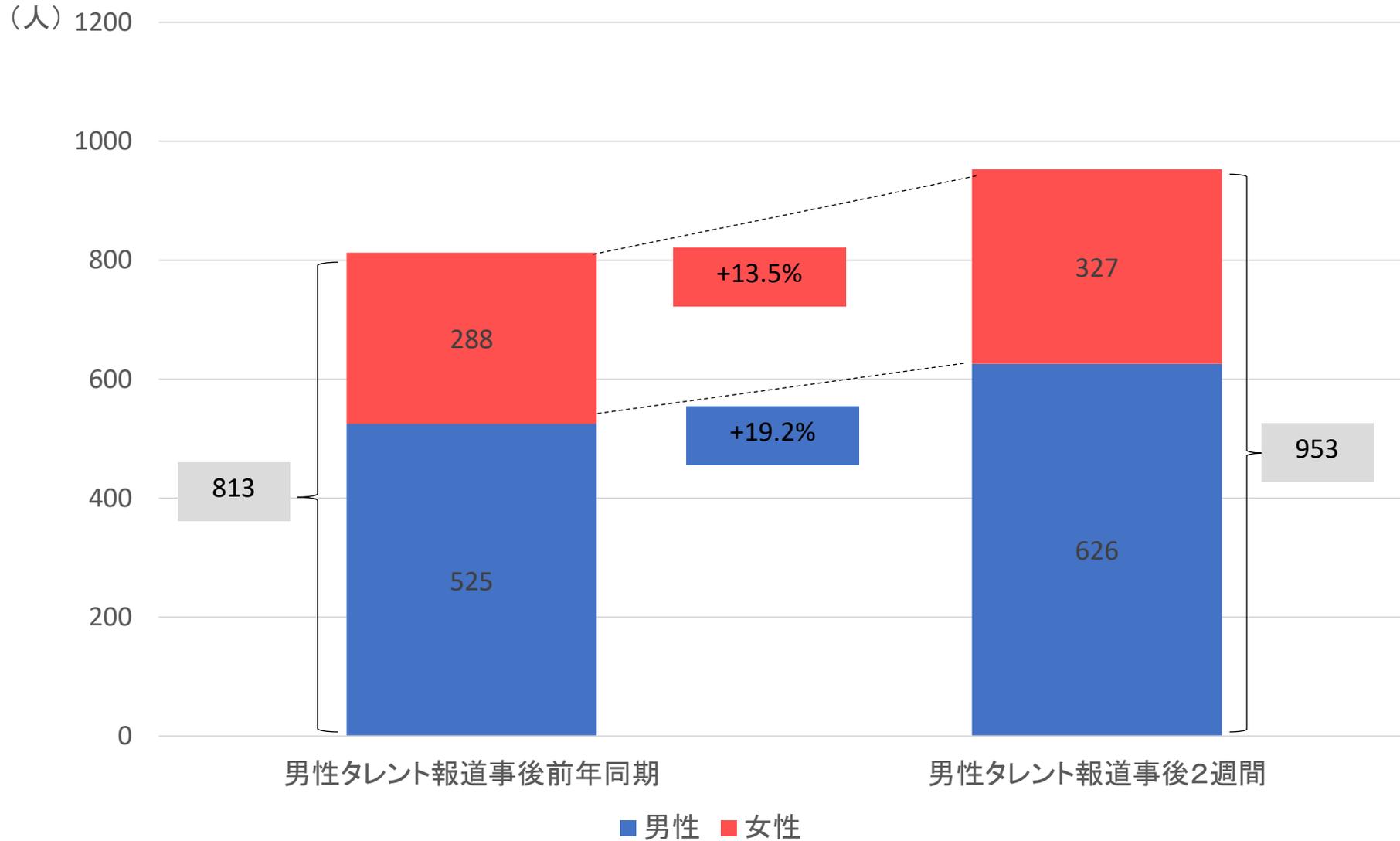
令和2年から4年自殺者数の「日次推移」

平成27年～令和元年の回帰モデルに基づく予測値と実際値との差の合計人数

自殺報道	対象期間(報道後2週間)	総数(人)	男(人)	女性(人)
著名男性俳優	2020年07月18日～2020年07月31日	228.48	97.44	130.88
著名女性俳優	2020年09月27日～2020年10月10日	368.63	149.90	218.67
著名女性俳優	2021年12月19日～2022年01月01日	83.25	35.09	48.37
著名男性タレント	2022年05月11日～2022年05月24日	235.32	130.18	105.15

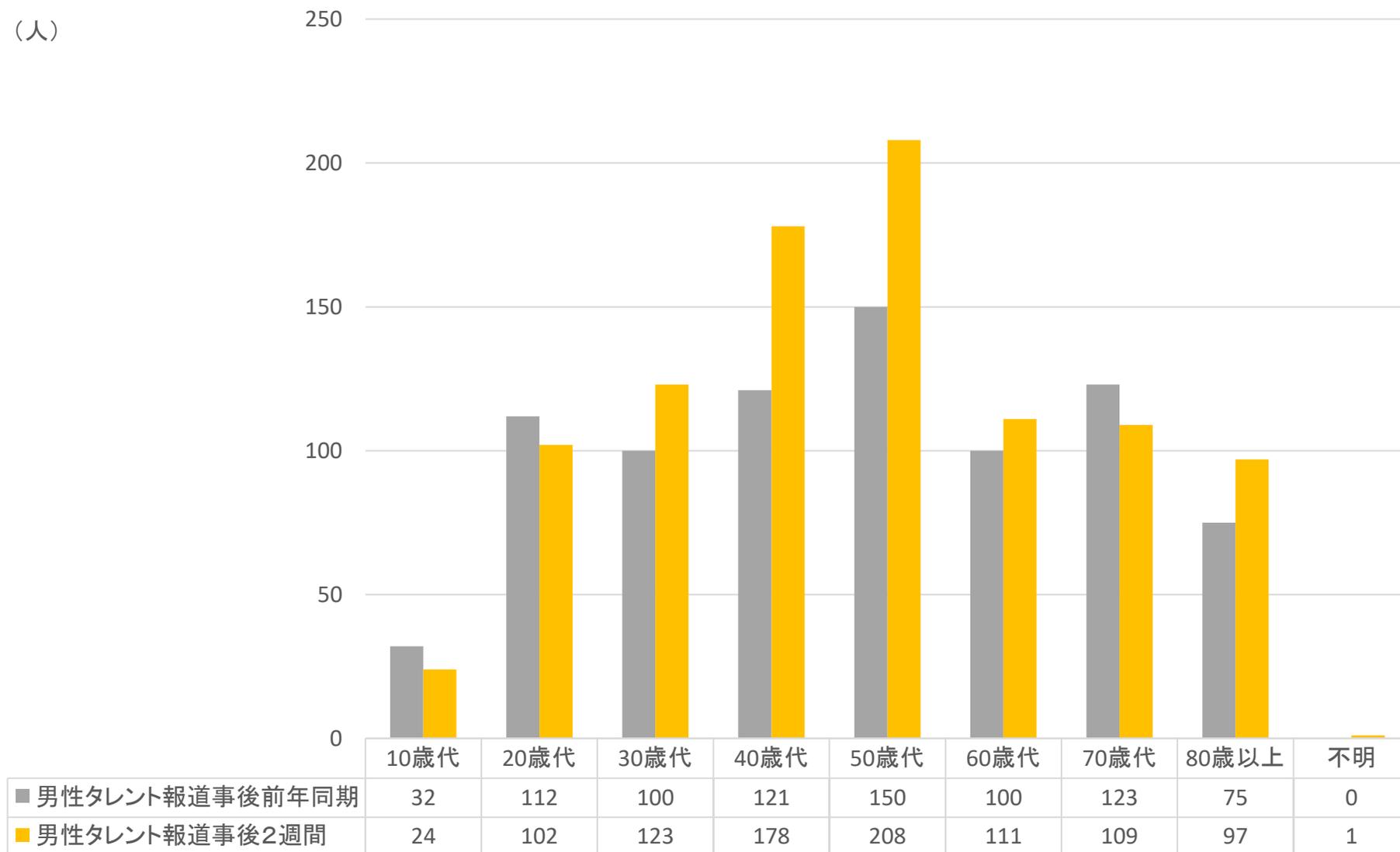
著名男性タレントの自殺報道について
「ウェルテル効果」がみられた可能性があることが示唆された

男性タレントの報道後2週間と前年同期との自殺者数の比較



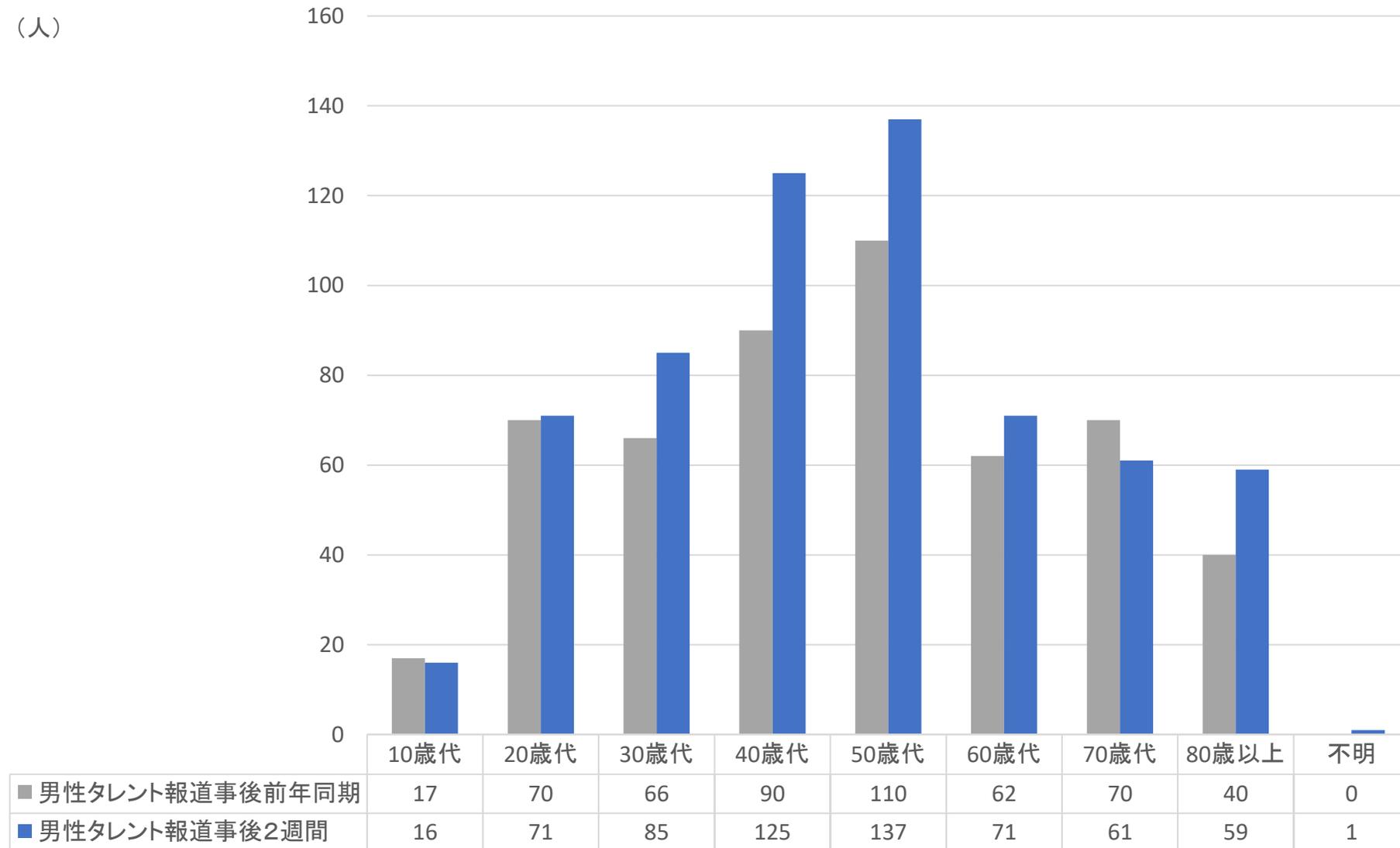
男性タレントの自殺報道に関わる「年齢階級別自殺者数(総数)」の変化

(人)



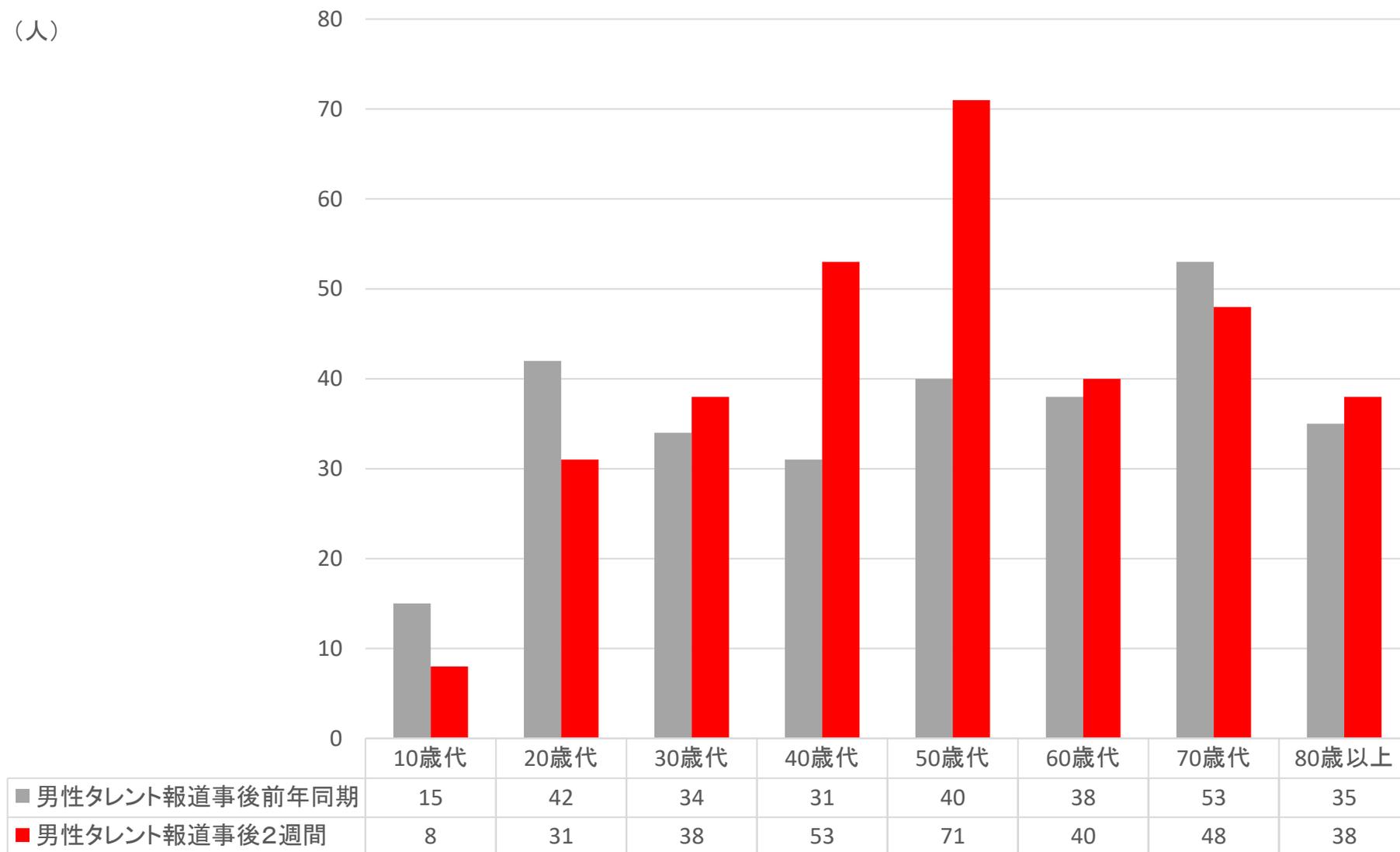
男性タレントの自殺報道に関わる「年齢階級別自殺者数(男性)」の変化

(人)



男性タレントの自殺報道に関わる「年齢階級別自殺者数(女性)」の変化

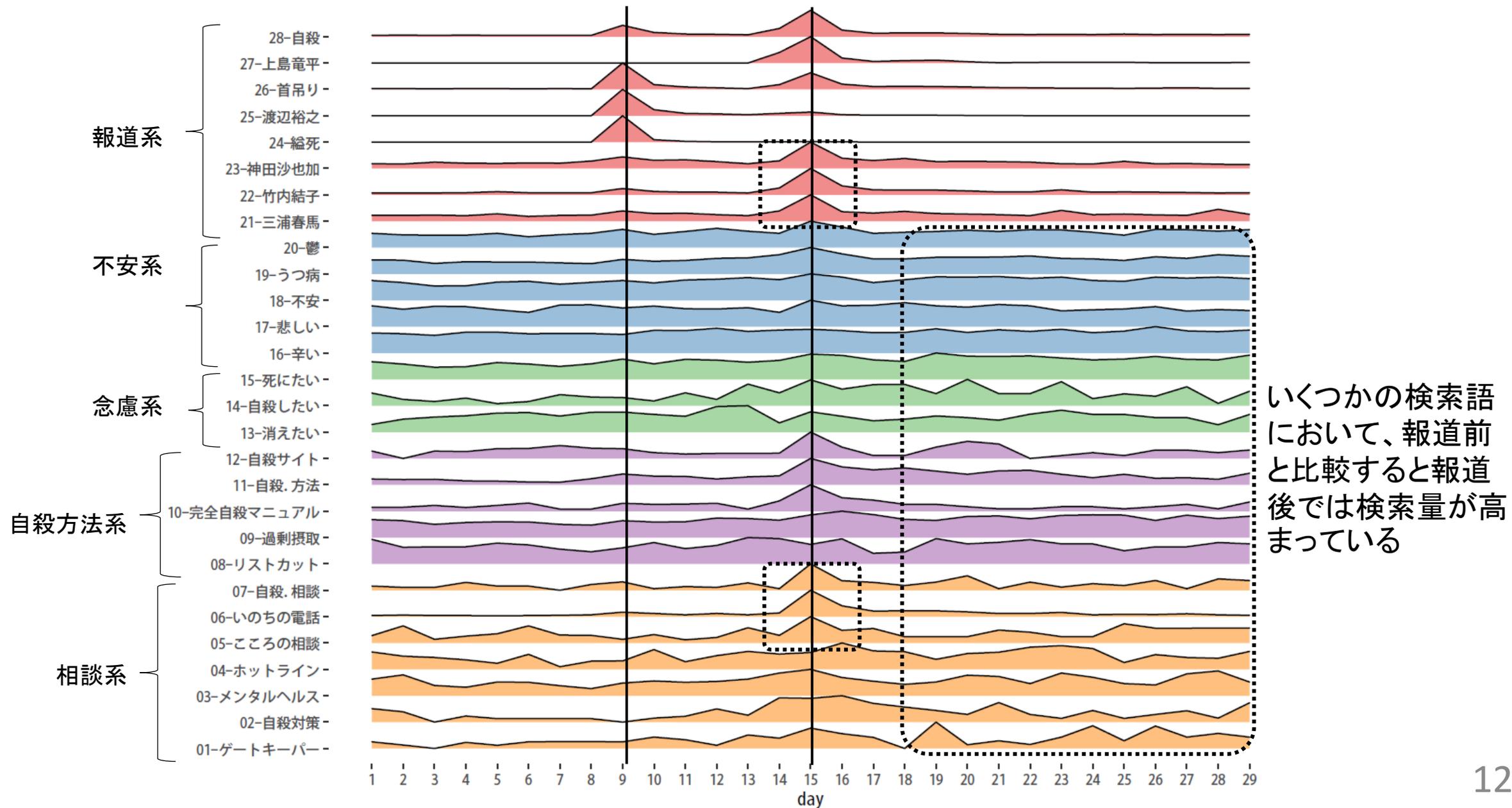
(人)



現在、試行的に行っている研究の ご紹介

**自殺報道がどのようなメカニズムで
自殺者数を押し上げていたのか
について**

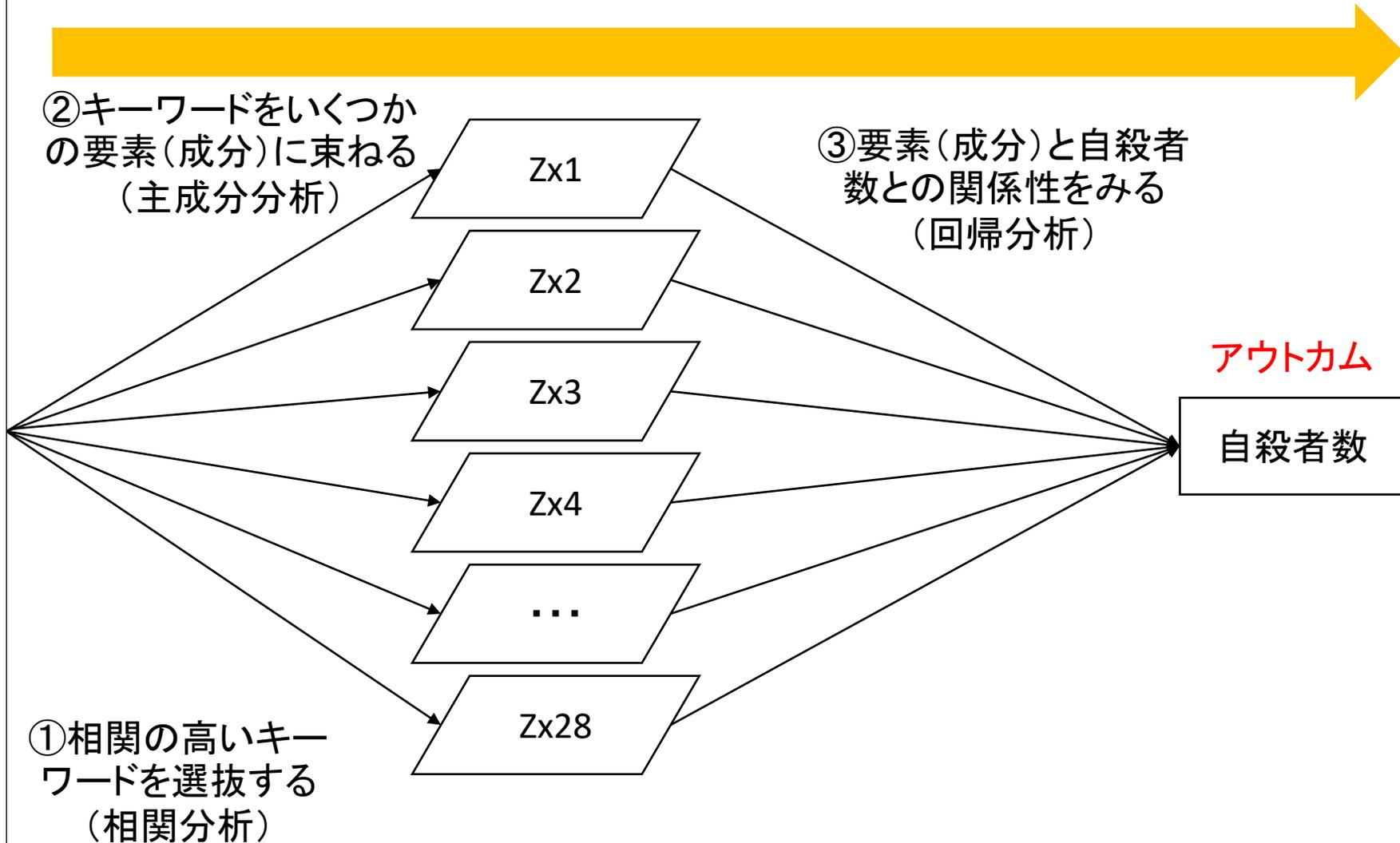
インターネット検索量の推移 2022年5月11日:前後2週間比較



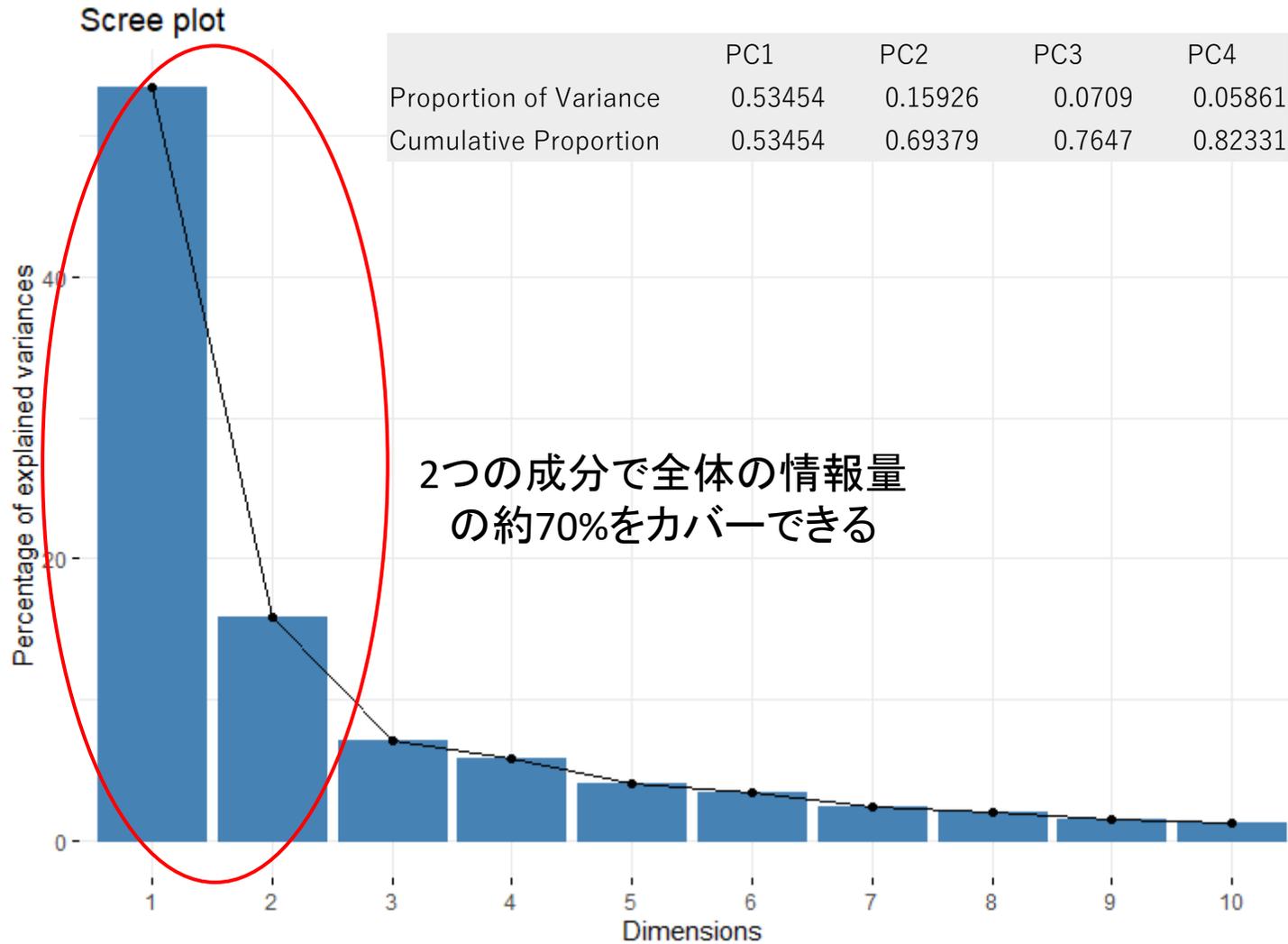
キーワード群

自殺
上島竜平
首吊り
渡辺裕之
縊死
神田沙也加
竹内結子
三浦春馬
鬱
うつ病
不安
悲しい
辛い
死にたい
自殺したい
消えたい
自殺サイト
自殺方法
完全自殺マニュアル
過剰摂取
リストカット
自殺相談
いのちの電話
こころの相談
ホットライン
メンタルヘルス
自殺対策
ゲートキーパー

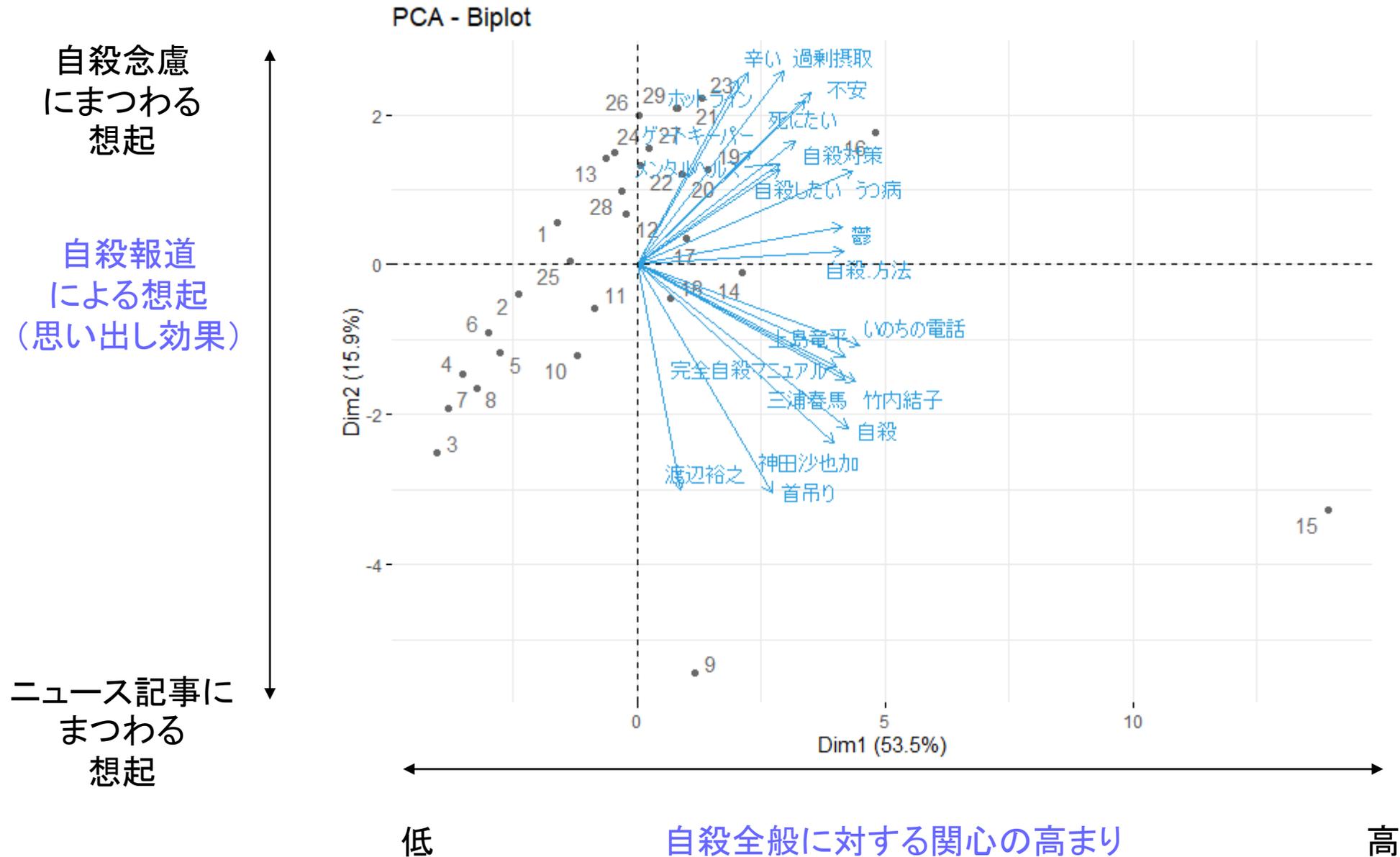
分析フレームワーク



2つの要素(成分)にまとめる(縮約する)



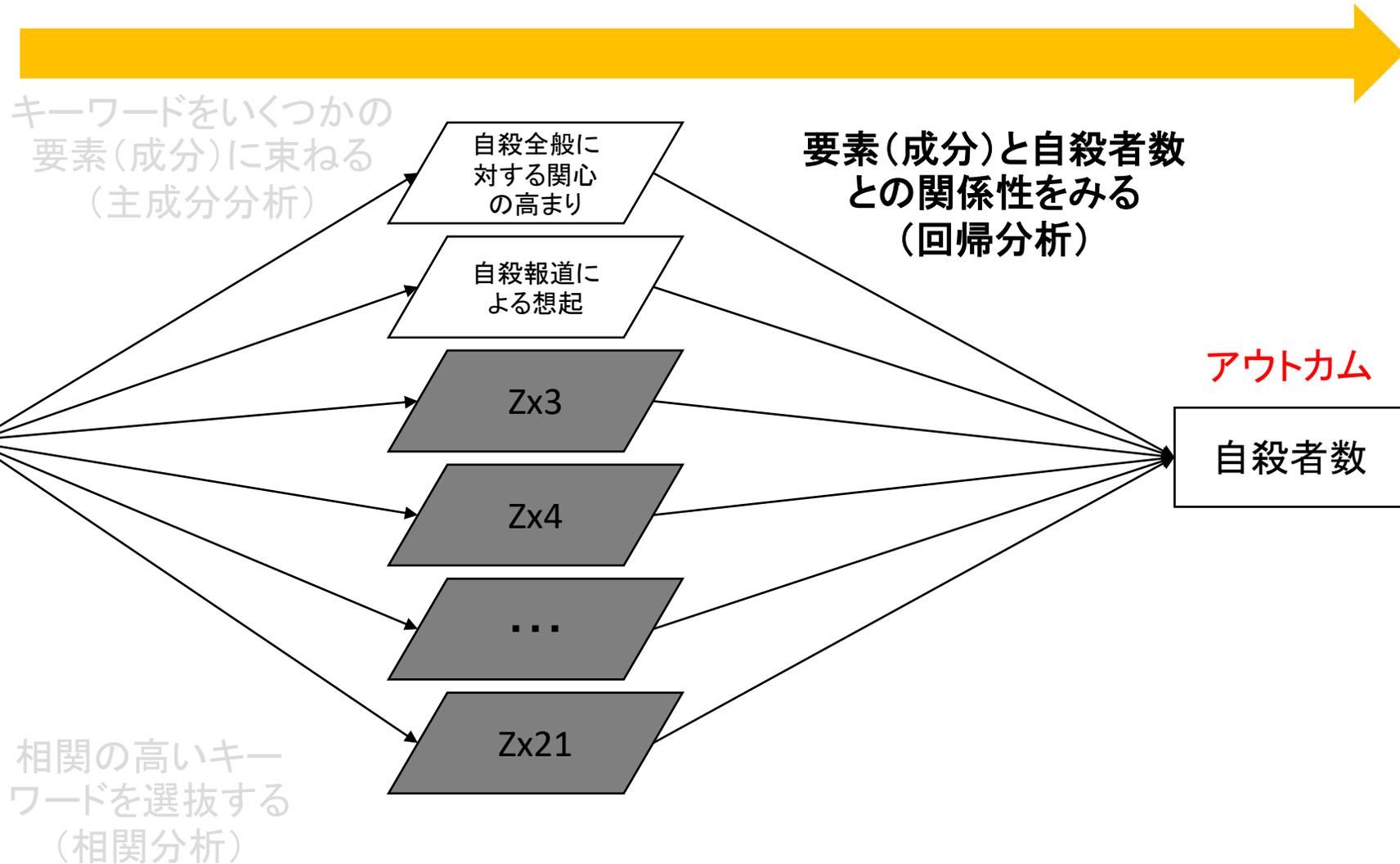
自殺関連キーワードの位置づけ



キーワード群

- 自殺
- 上島竜平
- 首吊り
- 渡辺裕之
- 縊死
- 神田沙也加
- 竹内結子
- 三浦春馬
- 鬱
- うつ病
- 不安
- 悲しい
- 辛い
- 死にたい
- 自殺したい
- 消えたい
- 自殺サイト
- 自殺方法
- 完全自殺マニュアル
- 過剰摂取
- リストカット
- 自殺相談
- いのちの電話
- こころの相談
- ホットライン
- メンタルヘルス
- 自殺対策
- ゲートキーパー

分析の流れ



主成分回帰分析の結果

【総数】 自殺者数を従属変数とした場合	Estimate	Std. Error	t value	Pr(> t)	
自殺全般に対する関心の高まり	7.565117	1.334645	5.66826	0.000006	***
自殺報道による想起	6.860709	1.334645	5.140474	0.000023	***
R-square		0.692503			
Adjusted R-square		0.668849			

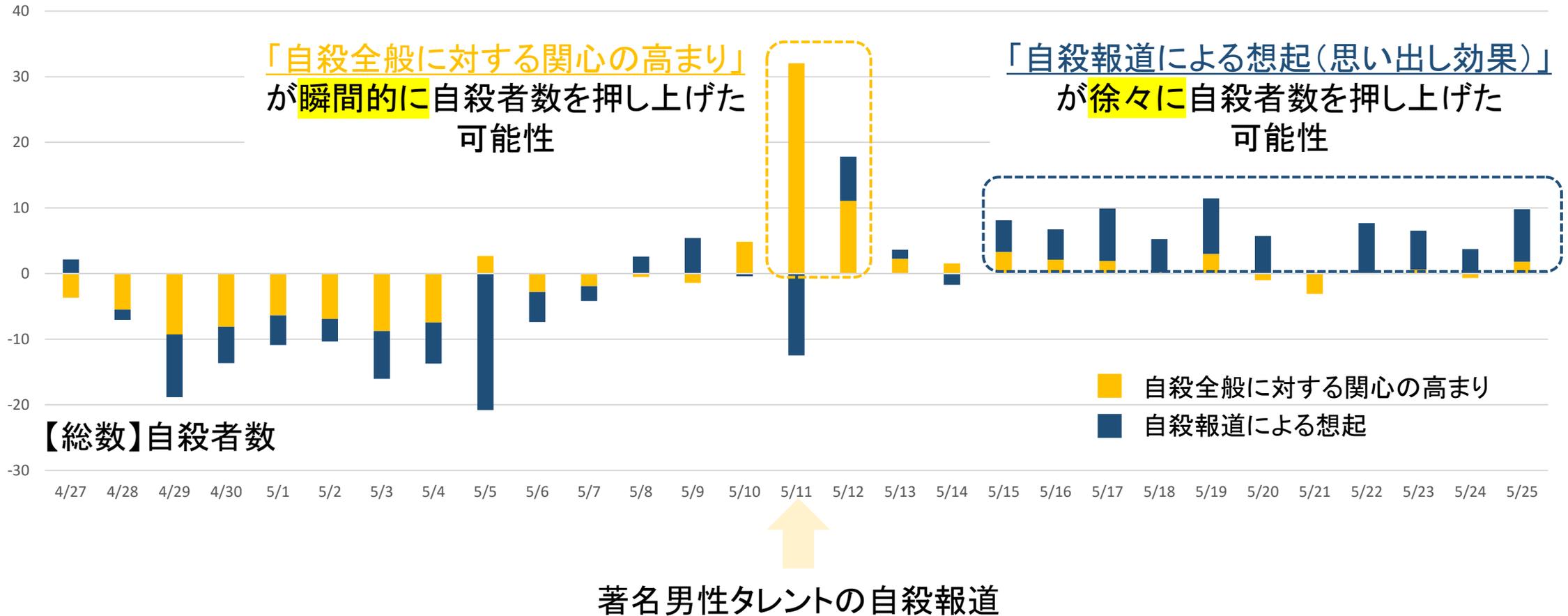
【男性】 自殺者数を従属変数とした場合	Estimate	Std. Error	t value	Pr(> t)	
自殺全般に対する関心の高まり	4.870978	1.128996	4.314433	0.000205	***
自殺報道による想起	4.770968	1.128996	4.225849	0.000259	***
R-square		0.583814			
Adjusted R-square		0.5518			

【女性】 自殺者数を従属変数とした場合	Estimate	Std. Error	t value	Pr(> t)	
自殺全般に対する関心の高まり	2.694138	1.036581	2.599061	0.015202	*
自殺報道による想起	2.089741	1.036581	2.015994	0.054243	
R-square		0.29385			
Adjusted R-square		0.23953			

*** $P = 0.000$. ** $P < 0.001$. * $P < 0.01$; $P < 0.05$.

自殺報道によって発生するロングテール現象

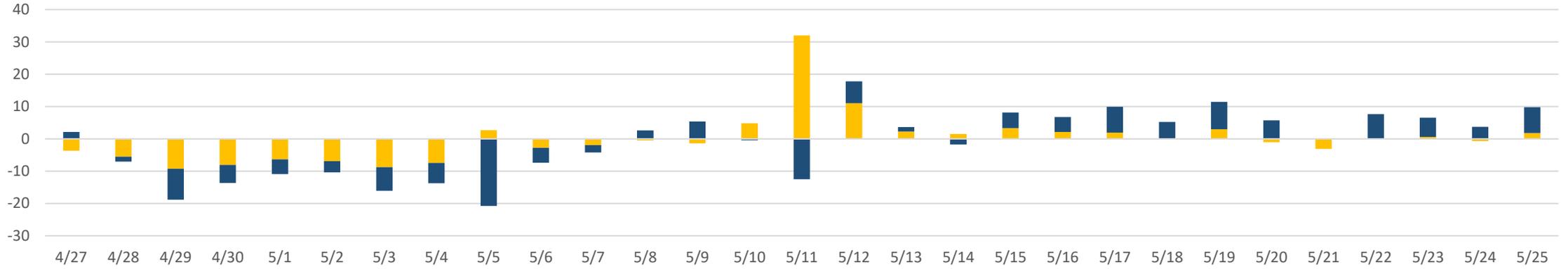
主成分回帰分析に基づく日別要因分解



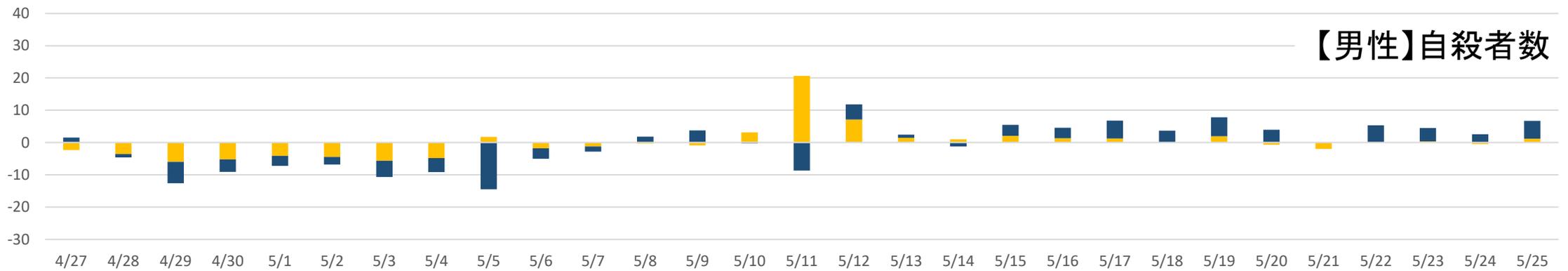
※この2つの成分によって自殺者数増減の全てを説明できるわけではないことに注意

【補足】男女比較

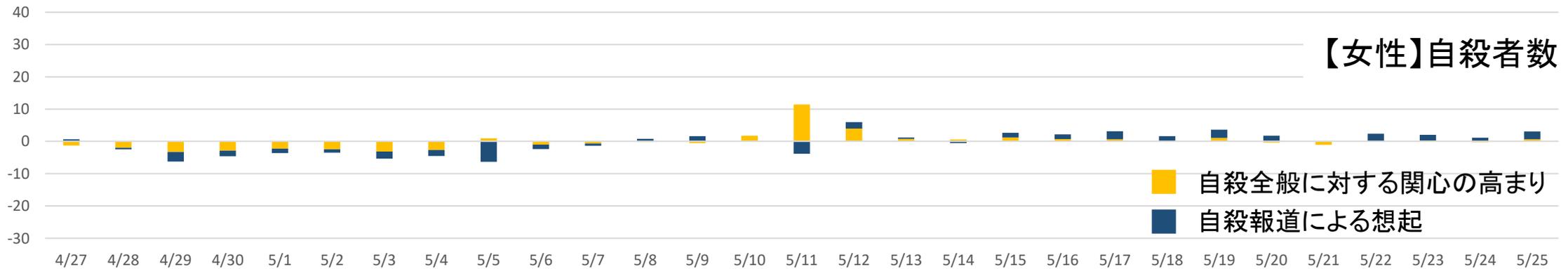
【総数】自殺者数



【男性】自殺者数



【女性】自殺者数



- 自覚全般に対する関心の高まり
- 自覚報道による想起

報道機関・メディア関係者に向けて

やってはいけないこと

- 自殺の報道記事を目立つように配置しないこと。また報道を過度に繰り返さないこと
- 自殺をセンセーショナルに表現する言葉、よくある普通のこととみなす言葉を使わないこと、自殺を前向きな問題解決策の一つであるかのように紹介しないこと
- 自殺に用いた手段について明確に表現しないこと
- 自殺が発生した現場や場所の詳細を伝えないこと
- センセーショナルな見出しを使わないこと
- 写真、ビデオ映像、デジタルメディアへのリンクなどは用いないこと

その後も少なくとも2～3週間は遵守する必要がある

(参照)

WHOの「自殺対策を推進するためにメディア関係者に知ってもらいたい基礎知識 2017年版」(いわゆる「自殺報道ガイドライン」)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000526937.pdf> 最終アクセス 2022.08.08

報道機関・メディア関係者に向けて

やるべきこと

- どこに支援を求めるかについて正しい情報を提供すること
- 自殺と自殺対策についての正しい情報を、自殺についての迷信を拡散しないようにしながら、人々への啓発を行うこと
- 日常生活のストレス要因または自殺念慮への対処法や支援を受ける方法について報道をすること
- 有名人の自殺を報道する際には、特に注意すること
- 自殺により遺された家族や友人にインタビューをする時は、慎重を期すること
- メディア関係者自身が、自殺による影響を受ける可能性があることを認識すること

相談窓口の提示だけで終わっていないか？
自殺と自殺対策についての正しい情報を「啓発」

(参照)

WHOの「自殺対策を推進するためにメディア関係者に知ってもらいたい基礎知識 2017年版」(いわゆる「自殺報道ガイドライン」)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000526937.pdf> 最終アクセス 2022.08.08

自殺を減らすために必要な報道とは？

やるべきこと

- どこに支援を求めるかについて正しい情報を提供すること
- 自殺と自殺対策についての正しい情報を、自殺についての迷信を拡散しないようにしながら、人々への啓発を行うこと
- 日常生活のストレス要因または自殺念慮への対処法や支援を受ける方法について報道をすること
- 有名人の自殺を報道する際には、特に注意すること
- 自殺により遺された家族や友人にインタビューをする時は、慎重を期すること
- メディア関係者自身が、自殺による影響を受ける可能性があることを認識すること

「啓発」に加え、「セルフケアの情報を伝える」ことも求められている

(参照)

WHOの「自殺対策を推進するためにメディア関係者に知ってもらいたい基礎知識 2017年版」(いわゆる「自殺報道ガイドライン」)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000526937.pdf> 最終アクセス 2022.08.08

ご清聴ありがとうございました



いのち支える

いのち支える自殺対策推進センター

Japan Suicide Countermeasures Promotion Center